

ブラックロック・インド株ファンド

追加型投資／海外／株式

ブラックロック・ジャパン株式会社

ニュース・レター

2009年10月29日

BLACKROCK

お客様向け資料

インド準備銀行は10月27日、金融引締めの一環として法定流動性準備率を1%引き上げ、25%にすると決定しました。なおこれに伴う、実際の経済に与える影響は限定的であると市場では考えられています。また世界的には、景気後退局面の打開・デフレ打破のために、各国の金融当局が積極的に金融緩和に動いている中で、先ごろのオーストラリアの金利引き上げに続き、インドでも金融政策を緩和型から引締め型に転向したという点で、先駆的な動きであると考えられます。当レポートでは、今回のインド中央銀行の金融引締め策の内容並びに今後の株式市場の見通しをまとめたいと思います。

今回のインド準備銀行の政策決定内容とその含意

- インド準備銀行は10月27日、金融政策決定会合で政策金利のレポレート、リバース・レポレート、預金準備率を据え置きましたが、法定流動性準備率*を1%引き上げ、25%にすると発表しました。
- インドのGDPの多くは第一次産業が占めますが、今年はモンスーン(雨季)の少雨の影響で食料供給量が減るとの見方から、食料価格が上がっているほか、信用危機後の金融緩和策で一部に物価上昇の懸念も出てきているなど、今後のインフレ率の上昇が懸念されていました。
- 今回のこの決定は「インドが金融緩和局面から金融引締め局面入りした」と当局がコメントしていることをアピールする上で、有効であったと考えられます。また今回の決定は、「金融緩和政策の“出口戦略”の第一歩」という位置づけであり、インド準備銀行は今後の物価の動向に注視していく方針であることを、発表しています。

* 銀行預金の一定割合を流動性の高い資産で運用するように義務付けた比率。

インド経済・株式市場の見通し

- 現在のインド経済のファンダメンタルズを勘案すると、今回法定流動性準備率を1%上げたことによる実際の経済への影響は限定的であると市場関係者の間では考えられています。その下で、今回の決定でインド準備銀行が「金融政策を“金融緩和型”から“金融引締め型”に転向し、足下執っている金融緩和政策の出口戦略を実行に移した」とコメントしている点で、国内外へのアピールになったと考えられます。
- 今後も同国の経済状況を鑑みながら、機動的に金融政策運営を行い、インフレを抑制し、経済成長を達成していけるかどうか注目されます。
- また同国の経済全般の見通しについて、GDP成長率は政府による地方への支援策、公共投資や内需などに牽引されることが想定され、年率約6.0%から7.0%になるという市場見通しもあり、先進国と比べて相対的に経済の状況は良好であると見ています。
- 当ファンドの運用担当者は、引き続きインド経済成長の恩恵を受けるとされる銘柄を選好する方針です。

ブラックロックインド株ファンド累積投資基準価額推移 2005/12/13 (設定日) ~ 2009/10/28現在

2009年10月28日現在
累積投資基準価額11,845円 基準価額10,543円



出所: ブラックロック・ジャパン

※上記は過去の実績であり、将来の成果等を保証するものではありません。

※累積投資基準価額は税引前分配金を再投資したものととして算出しています。

SENSEX指数

(2005/12/13 ~ 2009/10/28)



出所: Bloomberg

※上記は過去の実績であり、将来の成果等を保証するものではありません。

市場の見通し等、当欄記載の内容については、当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。また将来の成果について保証するものではありません。

お申込みの際は必ず投資信託説明書(目論見書)をご覧ください。

※当ファンドの基準価額は、当ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの他、為替変動による影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属いたします。元金が保証されているものではありません。※当ファンドは、預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金の対象にはなりません。※当ファンドの受益権を取得される場合には、投資信託説明書(交付目論見書)を取得申込み前または申込みと同時に渡します。必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。※本資料は、当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成いたしました。その正確性および完全性について保証するものではありません。また使用されるデータ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。※本資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。※本資料は、当ファンドの特色や投資対象、リスク要因および留意点についてご理解を深めていただく目的でブラックロック・ジャパン株式会社が作成した商品の販売用資料です。

※当ファンドの基準価額は、当ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの他、為替変動による影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属いたします。元金が保証されているものではありません。
※当ファンドは、預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
※当ファンドを取得される場合には、投資信託説明書(交付目論見書)を取得申込み前または申込みと同時に申し渡しますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
※本資料は、当ファンドの特色や投資対象、リスク要因および留意点についてご理解を深めていただく目的でブラックロック・ジャパン株式会社が作成した商品の販売用資料です。
※本資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成いたしました。その正確性および完全性について保証するものではありません。また使用されるデータ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。

投資リスク

ファンドの基準価額は、組入れられている有価証券の値動きの他、為替変動による影響を受けます。これらの投資信託財産に生じた損益はすべて受益者の皆様に帰属します。したがって、元金および元金からの収益の確保が保証されているものではありません。当ファンドにかかる主なリスクは以下の通りです。

◆基準価額の主な変動要因(当ファンドの投資内容がもたらすリスク)

インド株式投資のリスク

当ファンドは、主としてインドの企業の株式に投資します。組入れられているインド株式の価格は、インドの経済状況、株式市場動向により大きく影響を受けます。したがって、投資する株式の価格変動によって、当ファンドの基準価額は変動します。インドなどのエマージング諸国の経済は、先進諸国に比べて不安定であり、その株式市場を取り巻く社会的・経済的環境はより不透明な場合が多く、エマージング諸国の政府は自国経済を規制または監督する上で大きな影響力を行使することがあります。したがって、主として先進国市場に投資する場合に比べて、より大幅に株価が変動することが考えられ、それに伴い当ファンドの基準価額が大幅に変動することがあります。

為替変動リスク

当ファンドの基準価額は円建てで表示されますが、円以外の外貨建資産に投資します。原則として、外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。したがって為替レートの動きに応じて基準価額は上昇または下落します。

オプション、先物、その他投資手法のリスク

当ファンドは証券オプション・先物および指数オプション・先物、通貨オプション、通貨先物、金利スワップ等様々な投資手法を用いることができます。このような投資手法を用いた結果、コストとリスクが伴い、基準価額に影響を与える可能性があります。

◆ファンド運営上のリスク

取得申込・解約申込および買取申込の受付の中止・取消

証券取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、受益権の取得申込、解約申込および買取申込の受付を中止する場合があります。また、この場合、既に受付けた受益権の取得申込、解約申込および買取申込の受付についても取り消す場合があります。

信託の途中終了

当ファンドは一部解約により受益権の口数が30億口を下回ることとなった場合、または受益者のため有利と認められる場合、その他やむを得ない事情が発生したとき等は、信託期間の途中でも信託を終了(繰上償還)させる場合があります。

法令・税制・会計等の変更

法令・税制・会計方法等は今後変更される可能性があります。

※詳細は投資信託説明書(交付目論見書)の「第二部 ファンド情報 第1ファンドの状況 3投資リスク」をご覧ください。

お申込みの際は必ず投資信託説明書(目論見書)をご覧ください。

※当ファンドの基準価額は、当ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの他、為替変動による影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属いたします。元金が保証されているものではありません。※当ファンドは、預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金の対象にはなりません。※当ファンドの受益権を取得される場合には、投資信託説明書(交付目論見書)を取得申込み前または申込みと同時に申し渡しますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。※本資料は、当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成いたしました。その正確性および完全性について保証するものではありません。また使用されるデータ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。※本資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。※本資料は、当ファンドの特色や投資対象、リスク要因および留意点についてご理解を深めていただく目的でブラックロック・ジャパン株式会社が作成した商品の販売用資料です。

当ファンドに係る手数料および費用等について

直接ご負担いただく手数料

■申込手数料

お申込受付日の翌営業日の基準価額に下記の手数料を乗じて得た額とします。

申込金額：(お申込受付日の翌営業日の基準価額/1万口)
×申込口数

申込金額	手数料率
1,000万円未満	3.150% (税抜3.0%)
1,000万円以上5億円未満	2.100% (税抜2.0%)
5億円以上10億円未満	1.050% (税抜1.0%)
10億円以上	0.525% (税抜0.5%)

■換金手数料

当ファンドには換金手数料はありません。

■信託財産留保額

当ファンドには信託財産留保額はありません。

投資信託財産を通して間接的にご負担いただく費用

■信託報酬

投資信託財産の純資産総額に年2.1% (税抜2.00%) の率を乗じて得た額が投資信託財産から支払われます。

■諸費用

目論見書の作成費用、運用報告書の作成費用、ファンドの財務諸表監査に関する費用等の諸費用について、投資信託財産の純資産総額の年0.105% (税抜0.10%) を上限として、投資信託財産から支払うことができます。

■その他の費用

信託事務の処理に要する諸費用、組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管費用等についてもファンドから支払われます。(上記その他の費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。)

※申込手数料、信託報酬、諸費用およびその他の費用には消費税および地方消費税に相当する金額(消費税等相当額)が含まれます。

※当該手数料および費用等の合計額については、ファンドの保有期間等に応じて異なりますので表示することができません。

※費用については投資信託説明書(交付目論見書)の「第二部ファンド情報 第1ファンドの状況 4手数料等及び税金」をご覧ください。

お申込みメモ

信託期間	平成17年12月13日から平成27年12月10日まで(約10年)
申込単位	10万円以上1円単位または10万口以上1口単位
申込価額	お申込受付日の翌営業日の基準価額
決算および分配	年1回の決算時(12月10日(休業日の場合は翌営業日))に決算を行い、収益分配方針に基づき分配します。 ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 ※分配金支払いコースでのお申込みの場合は、収益分配金は決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。 ※分配金再投資コースでのお申込みの場合は、収益分配金は税引後、全額自動的に再投資されます。
換金単位	1口以上1口単位
換金価額	解約請求の場合：解約請求受付日の翌営業日の基準価額 買取請求の場合：買取請求受付日の翌営業日の基準価額に当該買取を行う販売会社にかかる税相当額を控除した額となります。(当該税相当額は免除される場合があります。)
支払開始日	換金請求受付日より起算して5営業日目以降

※香港、ムンバイ、シンガポールのいずれかの銀行および証券取引所の休業日または半日営業日に該当する場合には、販売会社の営業日であってもお申込み・ご換金は受け付けません。

委託会社、その他の関係法人

委託会社： ブラックロック・ジャパン株式会社 (投資信託財産の運用の指図等を行います。)

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第390号

(社)投資信託協会会員/(社)日本証券投資顧問業協会会員

受託会社： 三菱UFJ信託銀行株式会社 (再信託受託会社：日本マスタートラスト信託銀行株式会社)

(投資信託財産の保管・管理・計算等を行います。)

販売会社： 大和証券株式会社

(受益権の募集の取扱いおよび販売を行い、信託契約の一部解約に関する事務、収益分配金の再投資に関する事務、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いに関する事務等を行います。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お申込

商号等	大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第108号
加入協会	日本証券業協会、社団法人日本証券投資顧問業協会、社団法人金融先物取引業協会

お申込みの際は必ず投資信託説明書(目論見書)をご覧ください。

※当ファンドの基準価額は、当ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの他、為替変動による影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属いたします。元金が保証されているものではありません。※当ファンドは、預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金の対象にはなりません。※当ファンドの受益権を取得される場合には、投資信託説明書(交付目論見書)を取得申込み前または申込みと同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。※本資料は、当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成いたしました。その正確性および完全性について保証するものではありません。また使用されるデータ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。※本資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。※本資料は、当ファンドの特色や投資対象、リスク要因および留意点についてご理解を深めていただく目的でブラックロック・ジャパン株式会社が作成した商品の販売用資料です。